

2024 年度

岐阜ハートセンター  
看護師特定行為研修

研修生募集要項



医療法人  
澄心会

岐阜ハートセンター

## I. 特定行為に係る看護師研修（以下、特定行為研修とする）の概要

### 1. 病院理念

#### 4つの「S」

**Safety** 安全 医療安全が文化として根づくように努めます。

**Spirit** 心ころ 心ころ温まる医療をめざし、接遇に努めます。

**Specialty&Science** 専門技術 心臓疾患専門病院として、確かな技術の提供に努めます。日進月歩の医学の発展に貢献できるよう努めます。

**System** 体制 24時間365日、絶対にお断りしない体制の整備に努めます。

### 2. 本院の特定行為研修の特徴

本院は、「保健師助産師看護師法第三十七条の二第二項第一号に規定する特定行為及び同項第四に規定する特定行為研修に関する省令（厚生労働省省令33号）に基づき、以下の特定行為区分について指定教育機関として指定を受けている。特定行為を活用して看護の専門性を高め実践する看護師の役割モデルを示し、その役割発揮に必要な研修を実施するものである。

特定行為区分とは、①呼吸器（気道確保に係るもの）関連②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連③動脈血液ガス分析関連④創傷管理関連⑤創傷ドレーン管理関連⑥栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連⑦心嚢ドレーン管理関連⑧胸腔ドレーン管理関連⑨栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連である。

### 3. 特定行為研修の目的

本研修の目的は、地域での社会的役割を自覚し、根拠に基づいた、専門性の高い看護を倫理的側面に十分配慮しながら実践できる看護師を育成する。

### 4. 研修受講資格

- 1) 日本国の看護師免許を取得しているもの
- 2) 出願時に通算5年以上の看護師実務経験を有すること
- 3) 所属長（看護部長あるいは同等職位の所属長）の推薦を有すること
- 4) 所属施設において特定行為研修中における協力が得られること
- 5) 人々の健康や質の高い保健・医療・福祉の実現に貢献する意思のある者

## 5. 履修内容の読み替え

認定看護師教育課程において、既に履修した授業科目や時間数の取り扱い並びに受講時間数については、関連する科目の受講に当たり、履修免除願を提出の上、当研修の教育内容に相当すると当院特定行為研修管理委員会で判断された場合に限り免除する。

また、特定行為指定研修機関で既に受講した科目や時間数の取り扱い並びに履修認定についても履修免除願を提出し、当院特定行為研修管理委員会の審査の上、免除する。

## 6. 定員

定員 5名

## 7. 研修期間

研修期間 1年間

## 8. 募集時期

年1回 10月期

## 9. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要がある

- 1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること
- 2) 共通科目修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価に、また科目によっては実技試験に合格し、実習にて規程の症例数を経験すること  
\*なお、特定行為研修修了後は、修了した特定区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

## 10. 実施日程(予定)

|       |                |       |
|-------|----------------|-------|
| 2024年 | 10月上旬          | 開講式   |
|       | 10月から2024年3月末日 | 共通科目  |
| 2025年 | 4月上旬から9月中旬頃    | 区分別科目 |
|       | 9月下旬           | 修了式   |

## 11. 研修場所

自施設研修

## 1 2. 研修内容の特徴

|   |                   |   |
|---|-------------------|---|
| A | クリティカルケア領域呼吸管理コース | ① 呼吸器（気道確保に係るもの）関連<br>② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連<br>③ 動脈血液ガス分析関連                |
| B | 創傷管理コース           | ① 創傷管理関連<br>② 創部ドレーン管理関連  |
| C | 栄養及び水分管理コース       | ① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連   |
| D | ドレーン管理コース         | ①心嚢ドレーン管理関連<br>②胸腔ドレーン管理関連<br>③栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連<br>④創部ドレーン管理関連 |

本研修は、A,B,C,D のいずれかのコースもしくは、A+C、A+D、B+C、B+D のコースを選択することができる。加えて、どのコースにも 258 時間の共通科目により構成されるものである。

## 1 3. 共通科目教育方法と時間数

| 科目名         | 学ぶべき事項   | 教育方法と時間数                                  | 総時間数  |
|-------------|--|---|-------|
| 臨床病態生理学     | 1. 臨床解剖学<br>2. 臨床生理学<br>3. 臨床病理学<br>4. 臨床病態生理学 演習  | 講義 27 時間<br>演習 3 時間<br>試験 1 時間            | 31 時間 |
| 臨床推論        | 1. 診療のプロセス<br>2. 臨床推論(症候学を含む)の理論と演習<br>3. 医療面接の理論と演習・実習<br>4. 各種臨床検査の理論と演習<br>5. 画像検査の理論と演習<br>6. 臨床疫学の理論と演習 | 講義 35 時間<br>演習 9 時間<br>実習 2 時間<br>試験 1 時間 | 47 時間 |
| フィジカルアセスメント | 1. 身体診察基本手技の理論<br>2. 部位別身体診察手技と所見の理論<br>3. 身体診察の年齢による変化<br>4. 状況に応じた身体診察<br>5. 演習・実習                         | 講義 39 時間<br>演習 4 時間<br>実習 4 時間<br>試験 1 時間 | 48 時間 |

|              |  |  |       |
|--------------|--|--|-------|
| 臨床薬理学        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薬物動態の理論と演習</li> <li>2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習</li> <li>3. 主要薬物の相互作用の理論と演習</li> <li>4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習</li> </ol>   | 講義 35 時間<br>演習 9 時間<br>試験 1 時間             | 45 時間 |
| 疾病・臨床病態概論    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主要疾患の臨床診断・治療の概論</li> <li>2. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習</li> <li>3. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習</li> </ol>   | 講義 34 時間<br>演習 6 時間<br>試験 2 時間             | 42 時間 |
| 医療安全学/特定行為実践 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証 (Quality Care Assurance) を学ぶ</li> <li>2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践 (Inter Professional Work (Ipw)) (他職種との事例検討等の演習を含む)</li> <li>3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ</li> <li>4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し見直すプロセスについて学ぶ</li> <li>5. 一連のこれまでの学びを総合して、特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ</li> </ol> | 講義 22 時間<br>演習 13 時間<br>実習 9 時間<br>試験 1 時間 | 45 時間 |

#### 1 4. 区分別科目教育方法と時間数

##### A)クリティカルケア領域呼吸管理コース

| 特定行為区分の名称            | 特定行為                         | 教育方法と<br>時間数・症例数  | 総時間   |
|----------------------|------------------------------|---|-------|
| 呼吸器(気道確保に係るもの)<br>関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整   | 講義 9 時間<br>OSCE 1 時間<br>実習 10 時間<br>(5 症例以上)<br>試験 1 時間 | 21 時間 |
| 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連   | 侵襲的陽圧換気の設定の変更                | 講義 21 時間  | 50 時間 |
|                      | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更               | 演習 8 時間   |       |
|                      | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 | 実習 20 時間<br>(5 症例以上)                                    |       |
|                      | 人工呼吸からの離脱                    | 試験 1 時間   |       |
| 動脈血液ガス分析関連           | 直接動脈穿刺法による採血                 | 講義 13 時間<br>OSCE 2 時間<br>実習 10 時間<br>(5 症例以上)           | 26 時間 |
|                      | 橈骨動脈ラインの確保                   | 試験 1 時間   |       |

##### B)創傷管理コース

| 特定行為区分の名称  | 特定行為                                 | 教育方法と<br>時間数・症例数                              | 総時間   |
|------------|--------------------------------------|---|-------|
| 創傷管理関連     | 褥（ジョク）瘡（ソウ）又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 | 講義 34 時間<br>OSCE 1 時間<br>実習 20 時間<br>(5 症例以上) | 56 時間 |
|            | 創傷に対する陰圧閉鎖療法                         | 試験 1 時間                                       |       |
| 創部ドレーン管理関連 | 創部ドレーンの抜去                            | 講義 5 時間<br>実習 5 時間<br>(5 症例以上)<br>試験 1 時間     | 11 時間 |

C) 栄養及び水分管理コース

| 特定行為区分の名称         | 特定行為                 | 教育方法と<br>時間数・症例数                            | 総時間   |
|-------------------|----------------------|---|-------|
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 | 講義 14 時間<br>演習 2 時間<br>実習 10 時間<br>(5 症例以上) | 27 時間 |
|                   | 脱水症状があるものに対する輸液による補正 | 試験 1 時間                                     |       |

D) ドレーン管理コース

| 特定行為区分の名称                           | 特定行為                    | 教育方法と<br>時間数・症例数                           | 総時間   |
|-------------------------------------|-------------------------|--|-------|
| 心嚢ドレーン管理関連                          | 心嚢ドレーンの抜去               | 講義 8 時間<br>実習 5 時間<br>(5 症例以上)<br>試験 1 時間  | 14 時間 |
| 胸腔ドレーン管理関連                          | 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 | 講義 12 時間<br>演習 1 時間<br>実習 5 時間<br>(5 症例以上) | 19 時間 |
|                                     | 胸腔ドレーンの抜去               | 試験 1 時間                                    |       |
| 栄養に係るカテーテル管理<br>(中心静脈カテーテル管理)<br>関連 | 中心静脈カテーテルの抜去            | 講義 7 時間<br>実習 5 時間<br>(5 症例以上)<br>試験 1 時間  | 13 時間 |
| 創部ドレーン管理関連                          | 創部ドレーンの抜去               | 講義 5 時間<br>実習 5 時間<br>(5 症例以上)<br>試験 1 時間  | 11 時間 |

## II.応募方法

### 1. 募集要項及び出願書類の請求方法

1) 岐阜ハートセンターホームページ「看護師特定行為研修」より、必要書類をダウンロードして下さい([https://gifu-heart-center.jp/specific\\_act/](https://gifu-heart-center.jp/specific_act/))

### 2) 郵送による請求

請求先：医療法人澄心会 岐阜ハートセンター  
看護師特定行為研修担当 看護部長 中嶋武広  
TEL 058-277-2277

### 2. 出願提出書類

- 1) 受講申請書（様式 1）
- 2) 履歴書（様式 2）
- 3) 受講申請許可書（受講同意書）（様式 3）
- 4) 推薦書（様式 4）
- 5) 志望動機（様式 5）
- 6) 受験票（様式 6）
- 7) 緊急連絡先（様式 7）
- 8) 履修免除願（様式 8）※該当者のみ提出
- 9) 看護師免許証の写し 1 枚

\*認定看護師、専門看護師は認定証の写し、特定行為研修共通科目修了者はそれを証明するものも同封の事

### 10) 受講審査料(33,000 円)の振込用紙控え

※なお、提出された出願書類、受講審査料はいかなる理由があっても返却いたしません

振込先：蒲郡信用金庫 南栄支店 普通 0815651  
医) 澄心会 理事長 鈴木孝彦

### 3. 出願提出方法

封筒に「特定行為研修受講申請書在中」と朱書きのうえ、簡易書留で下記送付先へ郵送すること、または直接持参してください。出願提出にかかる費用は個人負担とさせていただきます



(提出先及び問い合わせ窓口)

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南 4-14-4

医療法人澄心会 岐阜ハートセンター

看護師特定行為研修担当 看護部長 中嶋 武広 宛

TEL 058-277-2277 FAX 058-277-3377

提出期間

2024年7月1日(月曜日)～2024年7月19日(金曜日) 必着

### III. 選考方法

選考方法及び日時、場所

選考方法：書類審査、小論文及び面接

日 時：2024年7月29日(月曜日)

場 所：医療法人澄心会 岐阜ハートセンター

### IV. 合否決定

選考結果については2024年8月上旬頃、本人宛て簡易書留にて郵送いたします。

電話やFAXでの合否の問い合わせには応じられません。

### V. 受講手続き

#### 1. 受講手続き

合格通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内します。なお、研修期間中においては「看護職賠償責任保険」加入が必須となります。

#### 2. 受講手続き期間

2024年8月13日(火曜日)～2024年9月6日(金曜日)

※受講手続き期間後に受講を取り消した場合は、研修受講料は返金いたしません。

#### 3. 研修受講料(消費税込)

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 共通科目受講料             | ¥330,000 |
| A)クリティカルケア領域呼吸管理コース | ¥176,000 |
| B)創傷管理コース           | ¥110,000 |
| C)栄養及び水分管理コース       | ¥44,000  |
| D)ドレーン管理コース         | ¥110,000 |

## VI.その他

出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要な業務において使用させていただきます。それ以外の目的に使用することはありません。

ご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください。

医療法人澄心会 岐阜ハートセンター

看護師特定行為研修担当 看護部長 中嶋